

1 亀玉小学校 前原教諭の授業

「美しい書き方や順序に気をつけて読み、それを生かして食べ物へんしんブックを書こう」

指導の流れ

単元の目標:

- ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(知識・技能)
- ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成をすることができる。(思考・判断・表現)
- ・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思考・判断・表現)
- ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、考えを伝え合おうとする態度を養う。(主体的に学習に取り組む態度)

本時の学習活動:

「中」の段落の順序を考え、組み立てメモを完成させる。

○学習課題

自分の思いや考えが伝わるようにするためには、美しい順序や数をどうしたらよいか考えよう。

○前時までの活動を振り返り、本時のめあてをつかむ。

○段落の順序や数を考える。

○段落の数や順序を考える活動を通して、自分の組み立てメモの変容や成果を考える。

○学習の振り返り

どんな思いを伝えたいのか、それを伝えるために段落の数や順序をどうしたらよいか

授業の様子



これまでの学習の過程が見てわかるように、学級掲示を工夫し、教室全体が「食べ物へんしんブック」の世界となっていた。

個別最適な学びを意識し、本時では組み立てメモを完成させるために、A 同じ食材の人との交流、B 異なる食材の人との交流、C 先生と一緒に考える、と自分で学びを調整できる時間を確保し、多様な意見に触れられる機会を作ろうと考えた。



3 研究協議

- ・壁面掲示や振り返りシートにより、見通しをもつことができ、児童たちが達成感を得ることができてよかった。また、多くの本を教室に準備してあったので、すぐに自分で調べて確認できる環境づくりが児童たちの主体的な活動につながっていた。
- ・記録を残すという部分ではオクリンクや写真はとても有効だった。オクリンクを活用するならば、アドバイスをメモさせたり写真に書き込ませたりすることで、変化していることがわかるようになるのではないかな。
- ・個別最適な学びということで、気軽に他の児童と相談できる場面をつくり、自然と他者の考えに触れることができるのがよかった。しかし、どうしても仲のいい同士になってしまうところもあるので、難しさも感じた。

4 指導好評 浜松市立熊小学校長 二橋 宏之 先生

5 研修のまとめ

個別最適な学びを今後実現していくためには、ICTの活用は欠かせない。小学校でも中学校でも、ICTを積極的に取り入れたいところだが、まずは使い方やルールをはっきりさせることが大切である。

また、今回は教室に先生方が入って研究授業を行った。やはり教師や児童の声を直接聞くことができるので、あらためてリモートではなく対面の良さを感じた。

最後になるが、準備から、運営、片付けまで精力的に行ってくださった運営委員の方たちに御礼を述べ、まとめとしたい。

